

山口県山口市立德佐小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：115名（8クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：木造一部二階建て・延床面積2,468㎡・事業費約6億円
- ・ エコスクールの事業タイプ：その他新エネルギー活用型、自然共生型、木材利用型、その他型
- ・ 整備期間：（検討期間：H19.4～H20.2、工事時期・期間 H20.10～H21.11）
- ・ 要旨

徳佐小学校は、“人は環境を造り、環境は人を造る”という理念に基づき、豊かな人間性を育む環境造りを目指している。自然と共生し、周辺地域と融合した「大地から生えてきたような学校」を目標に、環境意識向上につながる拠点施設になることを願って改築された。

(エコスクール化の内容)

山口市阿東は、自然に囲まれた緑豊かな地域です。高地であるため冬季は寒冷で積雪が多く大変ですが、夏季は涼しく過ごしやすい環境にある。

徳佐小学校は、平成18年4月に旧亀山小との統合により新しくスタートした。温かい人間関係づくりとともに、言葉（コミュニケーション）と体験を重視した教育の推進を経営方針に掲げ、なかよく、かしこく、たくましい徳佐っ子の育成をめざしている。

平成20年度に改築した木造の校舎は、地域の豊かな木材を利用した温かみのある校舎である。一部二階建ての構造を活用した吹き抜けによる自然換気、ハイサイドライトによる自然採光など環境に配慮した設計になっている。

また、化石燃料を使わないペレットストーブを全教室に配備し、さらに床暖房にも対応しているため、「山口の北海道」と呼ばれる阿東の厳しい冬でも、無駄なCO₂を出さずに快適に過ごすことができる。

さらに、校内全体で緑化運動に取り組んでおり、特に中庭の芝生や外窓伝いの緑のカーテンなど、緑でいっぱいの学校環境づくりを行っている。



地域材を利用した温かみのある木造一部二階建て校舎



校舎の中央に位置する吹き抜けによる自然換気。天井にはハイサイドライトの自然採光

(エコスクール化の効果)



作教室にも設置されているペレットストーブ

各教室に設置されているペレットストーブは、通常の暖房に比べてCO2の削減や省エネに大きな効果がある。児童の環境への意識の高揚にも役立ち、環境にやさしい暖房器具を使用することは、自然への思いやりを認識するための大事な機会になっている。

(環境・エネルギー教育への活用)

徳佐小学校は、やまぐちエコリーダーズスクールに参加しており、全校で積極的にエコに取り組んでいる。山口県では、エコについて主体的な行動がとれる児童生徒を育成することを目的として、環境ISOの手法を活用した取組を行う学校(やまぐちエコリーダーズスクール)の活動を推進している。

中庭を芝生化することで屋外緑化に取り組み、緑のカーテンで建物緑化にも取り組んでいる。学校全体で緑化運動を奨励しており、雄大な阿東の自然の中にあっても一際緑に溢れた学校環境づくりに励んでいる。



中庭は日当たりもよく、子どもたちに人気のスポット



教職員だけでなく児童全員でエコに取り組んでいる

児童会組織を置かない徳佐小では、各委員会でエコの取り組みを行っている。「きらきら委員会」では、ポスターや新聞などでエコについての活動を奨励している。

給食委員会では、残量を調べて食べ残しを減らす呼びかけを行っている。放送掲示委員会では、環境絵本の朗読や環境クイズに取り組み、低学年の子ども達にもわかりやすく環境問題について教えることができた。

このように、学校全体でエコについての呼びかけを積極的に行うことで、エコへの意識を高め、人にも環境にもやさしい徳佐っ子の育成をめざしている。